# 金融機関オンラインの保安用電源
# 導入提案からメンテまで一貫受注

## パワーズ株式会社（大阪市西区）

藤井幹太社長

森西良俊取締役

今回は、金融機関向け保安用電源装置などの専用メーカー「パワーズ株式会社（藤井幹太（ふじい・かんた）社長、〒550－0003　大阪市西区京町堀1－10－8、☎06－6448－2531）」を取材した。社訓は「CVCF電源システムを通じて、高度情報化社会に奉仕し、国際社会に貢献する」。地方銀行や信用金庫などの金融機関のオンラインシステム機能を停電やその他の電源障害から守るための保安用自家発電装置や無停電電源装置を専門に取り扱っている。

主力製品は定格容量500kVA以下で、電子ガバナーを搭載した定電圧定周波発電装置（CV・CF）。装置内にバッテリーを内蔵した無停電電源装置（UPS）。両製品を統合してシステム構成した「完全無停電電源システム」の３点を取り扱う。CV・CF発電装置は電圧変動や周波数変動により悪影響を受けやすい情報通信機器やコンピューター、電算機類に対して常に所定の電圧と周波数の電源を供給できる。UPSは商用電源で瞬停や停電が発生した場合でも無瞬断・無停電で良質な電力を給電し、電算機やパソコンの正常な終了処理を行える。

金融機関では要求される電源品質が高く、店舗毎に負荷機器の違いで電灯、動力系の容量や性質が異なり、個別のニーズに適合したCV・CF発電機やUPSが求められる。大阪と名古屋を販売拠点として導入提案からメンテナンスまで一貫して請け負うパワーズの取り組みを紹介する。

### 創業の経緯

パワーズの創業は昭和51年（1976年）11月21日。金融機関向け電動計算機やカナ・タイプライターを取り扱う事務機器販売会社に勤務していた森西良俊氏（現パワーズ取締役）と同僚の伊藤征四郎氏（現パワーズ監査役）が脱サラし、大阪市、次いで名古屋市で創業した。創業当初から「金融機関のオンラインに貢献していく」ことが両氏の強い信念であった。

業務拡大に伴い、森西、伊藤両氏は資本金１千万円を出資し、昭和52年（1977年）３月１日、「パワーズ株式会社」を大阪市で設立した。設立当時は多くの地方銀行では、勘定業務は電動計算機や会計機の手作業からコンピューターによるオンラインシステムへと移行し始めた時期でもあった。その後、地方銀行、信用金庫、信用組合などでもオンラインシステムの導入が拡大し、情報通信機器やコンピューターを停電から守るための保安用電源の需要も拡大していった。

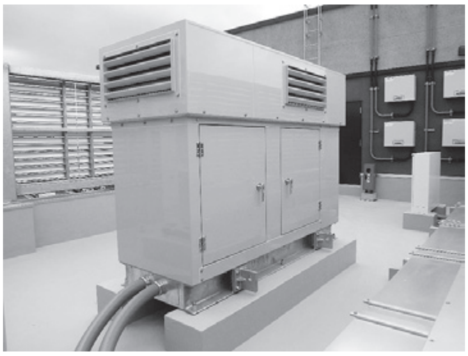
パワーズでは地方銀行や信用金庫を中心にCV・CF発電装置やUPSの納入実績が急増し、これら製品の販売へと特化していった。

### 事業の変遷

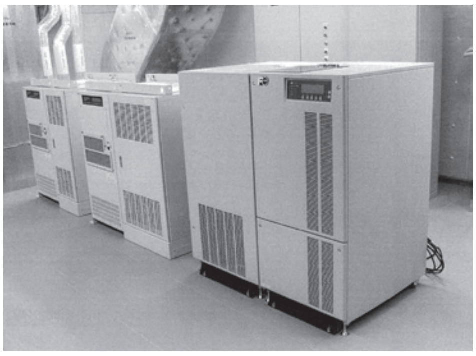
パワーズを設立した当時、電力会社では送配電線に裸電線を用いており、釣りざおなどが送電線に触れて感電する事故が多発し社会問題となった。通産省の指導により、絶縁処理を施した送電線への切替工事が急ピッチで行われ、絶縁化工事区間では頻繁に計画停電が実施された。停電の影響でオンラインシステムが稼働停止し、コンピューターに依存した顧客データが消失するのを防ぐため、都市銀行に引き続き地方銀行、第二地方銀行、信用金庫でも保安用電源装置を新規導入する動きに拍車がかかった。

パワーズではオンラインシステムの機能保全という新たなニーズを踏まえ、電子ガバナーを採用して定電圧・定周波・低歪率を実現した「ディーゼル発電装置」やガソリンエンジンを搭載した「小型定周波発電機」、UPSなどの保安用電源装置を地方銀行や信用金庫に積極的に売り込んだ。

また、昭和52年（1977年）、日本初となるガソリン四輪駆動車を利用した移動電源車を鳥取信用金庫に納入したほか、昭和63年（1988年）、「医療用特殊無停電電源装置10000PZ」を開発し大阪府立成人病センターに納入するなど、特長のある製品ラインアップを拡充し売上拡大を図っていった。



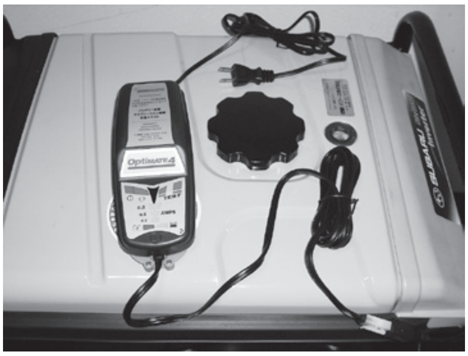
静岡県の信用金庫に設置されたCV･CF自家発電設備30kVA



愛知県の信用金庫に設置された無停電電源装置（UPS）20kVA

CV・CF小型ガソリン発電機SGi型４kVA

SGi型携行分電箱



SGi付属充電器

パワーズの特徴は、発電装置、受電装置、変電機器及び電源システムの設計・販売・施工・メンテナンス各業務に特化し、装置の生産は外部委託している点だ。お客様から装置の長時間化を求められた場合、パワーズ側で技術的な問題点を洗い直し設計を担当し、生産委託先と共同で新たな燃料タンクを製品化するといった仕組み。パワーズの技術者が導入提案から、製品開発、販売営業、据付工事、保守契約まで一貫して取り組み顧客満足度を一段と高めることで、納入実績の増加へと結びつけてきた。

## 組織体制について

パワーズでは、近畿・北陸・中国・四国の販売拠点として「本社」及び「西日本営業技術部（大阪市西区☎06－6448－2531）」、東海３県～静岡県浜松市以西・長野の販売拠点として「中日本営業技術部（名古屋市千種区☎052－733－8688）」、静岡県静岡市以東～関東の販売拠点として「東日本営業技術部（静岡県沼津市☎055－941－5888）」の３部体制を敷いている。

また、平成25年（2013年）６月に「東北営業所（福島県福島市☎024－563－4912）」を開設。東北６県で営業活動を本格開始し、企業の総合力を充実するため増資も完了した。

## 注力する分野

パワーズによると、国内の主な金融機関数は平成26年（2014年）９月末時点で、都市銀行は５機関計2,860店舗、信託銀行は４機関計281店舗、地方銀行は64機関計7,516店舗、第二地方銀行は41機関計3,056店舗、合計114機関計13,713店舗にのぼる。また信用金庫は267機関計7,432店舗、信用組合は154機関計1,708店舗、労働金庫は13機関計640店舗、合計434機関計9,780店舗ある。

パワーズでは、これら金融機関を対象に定格容量４kVAの超小型コンピューター用発電機「SGi（単相２線）」、「SGi用携行分電箱」、「SGi用充電器」を１組にして積極的な販売拡大を目指す。この発電機はUPSの制御部を搭載し、ガソリンエンジンで発電した電力をコンバーター、インバーターを通して高品質な電力に変換してオンラインシステムに最適な電力を供給できるという。

特徴として、長さ580mm×幅527mm×高さ618mm。重量74kgで小型軽量化を実現し、大人２人で軽自動車に積み込むことができる。騒音レベルは62db以下で国土交通省が定める超低騒音基準値（機関出力55kW未満の場合62db以下）をクリアした。燃料タンクが満タンで定格負荷で５時間30分の連続運転ができる。発電した電力は電圧が100V±５V以内、周波数が50/60Hz±0.5Hz以内、波形ひずみが正弦波に対し2.5％以下で「良質な交流電源」（JEITA Class B）を供給できる。

「SGi発電機」と併せて、雪害対策を想定した「寒冷地仕様CV・CF発電装置」も独自開発しトラックに搭載した。このトラックを関東、東北へ派遣し、地方銀行、信用金庫、信用組合で運転のデモンストレーションを行っていく。店舗数が多い関東や、これまで納入実績が少ない東北で積極的な営業を展開し新規受注の獲得を目指す。